

取組の概要

取組の概要 : エコ米、特別栽培米生産の低コスト化
 計画作成主体 : 河北郡市農業活性化協議会
 対象品目 : 水稻 (産地面積50ha)
 主な取組主体 : 農事組合法人スワン
 成果目標 : 生産コストの10%以上削減
 助成金の活用 : 整備事業 (乾燥調製施設)
 状況

ポイント

【取組の主題(テーマ)及び課題】

エコ米 (化学肥料、化学農薬の使用を通常より3割以上低減した県認証米)、特別栽培米の生産に意欲的な農家がいるものの、個人での乾燥調製では、一般米と区分けして乾燥・調製を行うことが限界となっており、共同利用施設による区分管理 (乾燥・調製) が課題。

【革新的な方策(産地イノベーション)】

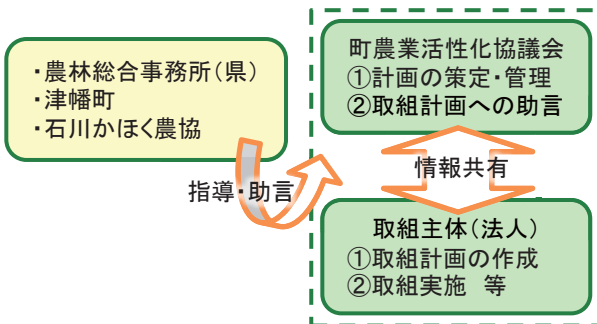
共同乾燥調製施設(ライスセンター)を整備し、県認証のエコ農産物(米)及び化学肥料・化学農薬の使用を5割以上削減する特別栽培米の区分管理の体制を構築することで、生産コスト(集出荷・加工)の削減が図られるとともに、環境保全型農業の取組を拡大。

地区の概要

石川県
津幡町
舟橋地区



推進体制



事業効果

【米の生産コスト(集出荷・加工)が削減】

・エコ米・特別栽培米について、乾燥・調製に係る作業が集約され、生産コスト(労働費等)が削減。

【環境保全型農業の取組拡大】

・米の有利販売にも繋がるため、エコ米・特別栽培米の作付面積が拡大するなど、地域における環境保全型農業の取組が拡大。

産地の現状と目標

〈現状〉

【27年度】米の生産コスト 14,250円/10a

〈目標〉

【30年度】米の生産コスト 12,825円/10a



環境保全型農業の取組状況(冬期湛水)

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- ・多面的機能増進を図る「舟橋グリーン会」の取組に参画し、環境保全型農業に取り組んでいる。
- ・エコ米、特別栽培米の生産に取り組んでいる。

〈県・市町村単独事業〉

- ・水田営農体制確立事業費による事業費の助成(津幡町:3.7百万円)

～米の生産コスト(集出荷・加工)～

